

# connect

[コネクト]

第8号

令和5年10月

医療の“いま”、病院の“いま”を  
お伝えします。



## 特集 糖尿病内科 産科 — 糖代謝異常合併妊娠

- [INFORMATION] 医師紹介 / 健康経営宣言 / これから出産予定の方へ
- [TOPICS] 中村亮土選手が当院を訪問

# 特集① 糖尿病内科

当科は1型および2型糖尿病の患者さんを中心に妊娠糖尿病や糖尿病合併妊娠、薬剤性の糖尿病等の患者さんの診察、治療、指導を行っております。また、救急病院であるため、糖尿病性ケトアシドーシスや高血糖高浸透圧症候群や低血糖性昏睡などの救急対応を行っています。他、通常の外来・入院治療に加えて持続血糖測定器を用いた血糖評価による血糖変動の評価や、インスリン持続皮下注入療法も行っています。

## 医師紹介

### 池田 真紀 医師

当科が1人から2人体制になったタイミングで、令和4年の4月から赴任しました。整形外科をメインに、外傷や外科系疾患の血糖管理に最も多く携わっています。教育入院や妊娠糖尿病の管理も数多く行っています。特に糖尿病初回診断の患者さんには、治療の必要性をきちんと理解していただき、同じ方向を向いて取り組めるよう、丁寧な説明を心がけています。当院は各診療科同士の風通しがよく、スタッフも積極的・協力的でとても感謝しています。糖尿病に対する治療薬は日々新しく出てきており、患者さんにとってよりよい治療選択を考えてまいりますので、よろしくお願いたします。

### 科長 山元 聖明 医師

令和2年4月、旧今給黎総合病院の時代より糖尿病内科を担当しています。旧病院時代は当科の常勤医が一人でありましたが、令和4年より2人体制となり、より充実した診療が行えているものと考えています。高血糖緊急症の他、血糖コントロールがなかなかうまくいかない、インスリンを導入して欲しい、合併症が進行していて対応に苦慮する等何かお困りの点がありましたらお気軽にご紹介ください。



## 治療項目

経口薬やインスリン、GLP-1受容体作動薬等の注射製剤による薬物療法はもちろんのこと、看護師による療養指導やフットケア、栄養士による栄養指導も積極的に行っています。またCGM(持続血糖モニタリング)やインスリンポンプ療法等の最新のデバイスを用いた治療も可能です。



フットケア



栄養指導

## 専門的な治療について

当科では24時間の血糖値を測定する持続血糖測定(CGM/FGM)の導入も行っています。これは患者さんに血糖の数値だけでなく、血糖の変化(血糖変動)を確認することのできる機械であり、患者さんそれぞれの変化パターンを知ることができます。また持続的にインスリンを体内に注入することでさらに安定した血糖値を得ることのできるインスリンポンプ(CSII、SAP、HCL)も行っております。

### 最新のインスリン療法の紹介

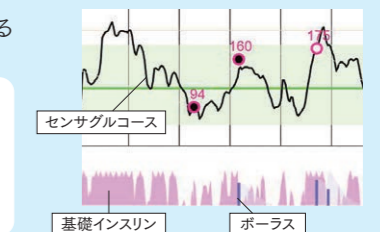
- CSII(Continuous Subcutaneous Insulin Infusion): 針を刺す回数が2~3日に1回に減り、人目を気にせずに注入できます。基礎インスリンを少量ずつ注入するため、運動量や月経周期に合わせてより生理的な分泌に近づけることができます。
- SAP(Sensor Augmented Pump): リアルタイムCGMを併用したポンプ療法です。高血糖や低血糖に対するアラートや、低血糖回避のための注入一時停止などの機能が利用できます。
- HCL(Hybrid Closed Loop): SAPの機能に加え、血糖変動に合わせて基礎インスリンを自動調整するテクノロジーを用います。血糖のさらなる安定化を期待できます。

### HCLのイメージ

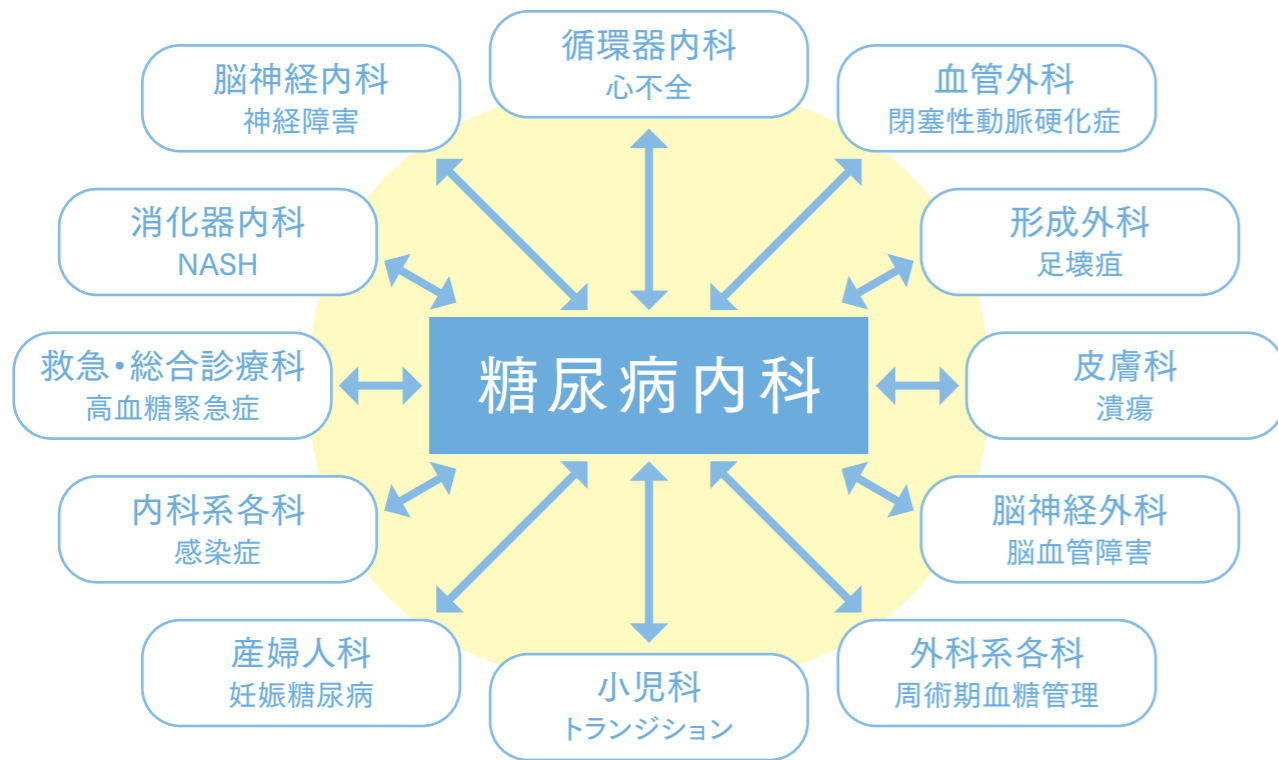
- センサグルコース値と過去の注入履歴をもとに、120mg/dLを目標にした基礎インスリン注入を自動調整
  - 食事や血糖値補正のためのボラスインスリンをボタン操作により注入
- 上記により、70-180mg/dLの範囲内にセンサグルコースを保つことを目的とする



- センサグルコース値が下がると基礎インスリンが減量する
- センサグルコース値が上がると基礎インスリンが増量する



# 当院における各診療科との連携・ 代表的な疾患



## 【図説】

当院は総合病院の強みを活かし、複数診療科が参加した集学的治療、チーム医療の実践により、糖尿病患者さんの様々な合併症に対応しております。

足病変のある患者さんは皮膚科や形成外科・血管外科、心疾患を合併した方は循環器内科、妊娠糖尿病は産婦人科といった、各専門の医師と連携し、高度な医療を追求しています。複数の専門医師がワンフロアに駐在し連携しており、多くの角度から協力して診ることができます。

忙しく働く患者さんにとって、1度に複数外来に通いやすいというメリットも挙げられ、患者さんの治療アドヒアランスの向上にもつながります。

## 地域の医療機関の

### みなさまへ

当院は救急・がん・周産期の医療を中心に診療を行っている病院ではありますが、糖尿病専門医・学会会員の医師、糖尿病療養指導士を中心とした指導に熟練した看護師や栄養士、薬剤師、スタッフが一丸となってチーム医療を行っています。地域の医療機関のみなさまと連携し、安全で質の高い医療を行えるよう努めて参ります。急を要する患者さん、治療にお困りの患者さんがいらっしゃいましたら是非当科へご相談ください。

## 科長 山元 聖明

- 日本内科学会認定内科医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本糖尿病学会専門医
- 日本内分泌学会専門医、指導医
- 日本糖尿病学会研修指導医
- 医学博士
- 緩和ケア研修修了医

## 医師 池田 真紀

- 日本内科学会内科専門医
- 緩和ケア研修修了医

# 特集② 産科

## 糖代謝異常合併妊娠

2010年に妊娠糖尿病の診断基準が変更となり、約12%の妊婦に妊娠糖尿病があると言われるようになりました。また近年の我が国における糖尿病患者数の増加とともに、晩婚化・晩産化も伴って、糖尿病合併妊娠も増加傾向にあり、妊婦の約15%が糖代謝異常合併妊娠と診断されると言われています。

当院では糖尿病内分泌内科と産科で連携して糖代謝異常合併妊娠の血糖管理と妊娠管理を並行して行っています。

## FreeStyleリブレの活用

FreeStyleリブレは上腕の皮下にシール型のセンサーを入れ、間質液中のグルコース濃度を連続的に測定し、リーダーでスキャンすることで連続測定したグルコース濃度の変動パターンを表示するグルコースモニタリングシステムです。

糖代謝異常合併妊娠では、母体だけでなく新生児の周産期予後改善のために厳格な血糖コントロールが求められ頻回な血糖測定を要することも少なくありません。2018年から妊婦に対するFreeStyleリブレ使用の禁忌が解除され妊娠糖尿病でも使用が可能になりました。当院でも適応を



満たした場合、妊娠中の血糖コントロールにFreeStyleリブレを使用しています。経時的な血糖管理は医学的有用性だけでなく、頻回な血糖測定を回避することで患者さんへの負担軽減にも繋がっています。

糖代謝異常合併妊娠では、血糖コントロールが不良な場合、新生児側にも巨大児のための肩甲難産、新生児低血糖、新生児呼吸障害等の合併症をもたらすことがあります。

特に1型糖尿病合併妊娠などで厳格なコントロールが困難な症例でも、NICUと連携し上記合併症に対応できるよう体制を整え安心したお産を提供できるよう心がけています。

## 地域の医療機関の

### みなさまへ

当院では総合病院の利点を生かし、上記糖代謝異常合併妊娠を含めた内科疾患合併妊娠に対し、内科・産科・新生児内科一丸となって診療を行っています。患者さんも通院先が1ヶ所済み、電子カルテ上で情報が共有されるため安心して通院いただいています。内科疾患を抱えた状態での妊娠に不安を抱える女性の一助となれるよう努めてまいりますので、該当患者さんがいらっしゃいましたらご相談いただければと思います。

## 部長 加藤 明彦

- 日本産科婦人科学会産婦人科専門医、指導医
- 鹿児島県医師会母体保護法 指定医
- 日本周産期・新生児医学会
- 新生児蘇生法 専門コースインストラクター
- 医学博士(宮崎大学)

## 医長 中間 恵美子

- 日本産科婦人科学会産婦人科専門医
- 産業医

## 顧問 寺原 賢人

- 日本産科婦人科学会産婦人科専門医
- 医学博士(鳥取大学)

## 10月入職医師紹介

### いまきいれ総合病院

整形外科	月橋 一創	○日本整形外科学会整形外科専門医
整形外科	土屋 太志郎	
形成外科	竹原 唯梨	○緩和ケア研修修了医
消化器外科	恒吉 弥沙	
消化器内科	坂 隆寛	



## TOPICS

# ラグビーワールドカップ 中村亮土選手が当院を訪問!



※写真撮影のためにマスクを外しています。

ラグビーワールドカップ(W杯)フランス大会に出場した中村亮土選手が当院を訪問されました! チリ戦での中村選手のダメ押しトライは見ていた方も多かったのではないのでしょうか? 当院職員のご子息である中村選手は職員から歓迎を受け、今給黎理事長、濱崎院長、寺原産婦人科顧問等と歓談されました。

我々、医療従事者にとっても、ラグビーから学ぶべき点は多いかと思えます。その一つにラグビーの精神でよく言われる「One for all, all for one」があります。今大会でも日本代表はワンチームとなって素晴らしいチームプレーを見せてくれました。我々もこういった精神をチーム医療に活かしたいものです。

今給黎理事長



## 公益社団法人昭和会では、「健康経営宣言」を制定し 職員の健康管理・健康増進に積極的に取り組んでいます

### 健康経営宣言

公益社団法人昭和会は、「協力・貢献・向上・教育」という理念のもと、地域社会に貢献するため職員一人ひとりの心身の健康を尊重し、働きがいのある職場を整備して、職員とその家族および地域住民を含めた心身の健康づくりをサポートします。

職員が安全に安心して働けるようにエンゲージメント向上に努め、法人として積極的に職員の健康増進に取り組み、社会・地域・時代のニーズに合った機能と質を重視した医療を提供するために、健全経営・健康経営を推進することを宣言いたします。

公益社団法人昭和会 代表理事 今給黎和幸

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されます。健康経営は、日本再興戦略、未来投資戦略に位置づけられた「国民の健康寿命の延伸」に関する取り組みの一つです。

(経済産業省ホームページより引用: [https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/healthcare/kenko\\_keiei.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenko_keiei.html))

#### からだの健康管理

- 職員健診
- 予防接種
- 食生活改善に向けた支援
- 健康講座

#### こころの健康管理

- ストレスチェック
- メンタルヘルス不調者への対応

#### 働きやすい 職場環境づくり

- 長時間勤務者への対応
- ハラスメントに関する相談
- 有給休暇の取得促進

#### 地域での活動

- がんの啓発活動

## これから出産予定の方へ

いまきいれ総合病院では出産支援強化期間として、**当院でご出産された方(3月予定日を含む)**へ、個室料無料などの支援を行っています。

期間: 2023年10月~2024年3月末

### 個室料 全額免除

その他の出産支援については、いまきいれ総合病院産科外来までお問い合わせください



#### レディース病棟個室

※入室状況により掲載写真以外の個室になる場合や、大部屋に移っていただく場合があります。予めご了承ください。

昭代会理念  
「協力・貢献・向上・教育」

- 1.全職員の協力体制
- 2.地域社会への貢献
- 3.自己研鑽と向上心
- 4.人材育成と教育

「救急」「がん」  
「周産期」を柱として、  
急性期医療で地域を支えます。



写真:糖尿病内科スタッフ



公益社団法人昭代会 IMAKIIRE GENERAL HOSPITAL  
いまきいれ総合病院

〒890-0051 鹿児島市高麗町43番25号  
TEL: 099-252-1090 FAX: 099-203-9119  
<https://imakiire.jp/>



当日入院の  
ご依頼(緊急)

医療機関専用緊急ダイヤル 救急患者のご紹介(24時間対応)  
TEL: 099-203-9115

医療連携全般の  
お問い合わせ

地域医療連携センター  
TEL: 099-203-9110 FAX: 099-203-9101 月～金曜日 8:30～17:00

翌日以降の  
診療予約

外来予約センター 診療予約・予約変更  
TEL: 099-203-9100 FAX: 099-203-9101 月～金曜日 9:00～17:00

画像検査の  
ご予約

画像予約センター  
TEL: 099-203-9102 FAX: 099-203-9144 月～金曜日 9:00～12:30 / 13:30～17:00



関連施設 上町いまきいれ病院  
〒892-0854 鹿児島市長田町5番24号  
TEL: 099-222-1800 FAX: 099-226-3366  
<https://imakiire.jp/kanmachi/>



いまきいれ子ども発達支援センター  
関連施設 まある  
〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目15-3  
TEL: 099-202-0325 FAX: 099-202-0326

いまきいれ総合病院の  
公式SNSもチェック!

